

第1回レポート

c103345 クラス 11
公益太郎

平成 22 年 5 月 11 日

1 箇条書き

1.1 番号なし箇条書き

- 番号なしは `itemize` 環境で
- 各項目は `\item` で

1.2 番号つき箇条書き

1. 番号つきは `enumerate` 環境で
 2. 各項目は `\item` で
- 2 番で分かるように、項目は `\item` で共通。

1.3 定義型

環境名 単語定義は `description` 環境で

使い方 定義単語は `\item` のオプション引数として `[ ]` で括って記述

2 相互参照

自動的に番号の付くもの、つまり

- 章、節番号
- `enumerate` の項目番号
- 図表番号

にはラベルを付けておくと、そのラベル名で番号を参照できる。

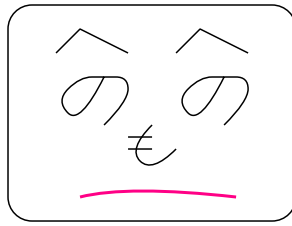


図 1: hogehoge の図

表 1: へのへの表

へ	の
へ	の
も	へ
じ	

2.1 図

図 1 のように、図は `figure` 環境で括り、図の下部にキャプションを付ける。

2.2 表

表 1 のように、表は `tabular` 環境で作成し、`table` 環境の中に括り入れる。表のキャプションは上に付ける。

3 その他の環境

他文献からの引用を示すのは

`quotation` 環境

である。

4 参考文献について

参考文献は文末に `thebibliography` 環境を作り、その中に `\bibitem` で文献を 1 つずつ登録していく。本文からの参照は `\cite` を使う。文献 [1] が詳しい。

参考文献

- [1] 奥村晴彦. 改訂第 4 版 LaTeX2 ε 美文書作成入門. 技術評論社. 2006/12/12.